

TAMRON

Focus on the Future

2024年12月期 第1四半期 決算説明

2024年4月26日（金）

株式会社タムロン（証券コード：7740）



I. 2024年第1四半期実績

1. 2024年第1四半期総括
2. 2024年第1四半期実績
3. 営業利益変動要因
4. 2024年第1四半期セグメント別実績
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

II. 2024年上期修正計画/通期計画

1. 2024年上期修正計画/通期計画
2. 2024年セグメント別 上期修正計画/通期計画
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

III. 参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

I .2024年第 1 四半期実績



I - 1 . 2024年第1四半期 総括

経営環境

経済環境

- ◆ 海外経済には一部停滞がみられたが景気は緩やかな回復基調
- ◆ ロシアウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化等の地政学的リスクや中国の不動産市況の低迷等により不透明感は継続
- ◆ 大幅な円安の進行（前年比で対USDは16円、EURは19円の円安）
- ◆ 原材料高による部材コストアップ、エネルギー価格高騰

市場環境

- ◆ レンズ交換式カメラ市場は一眼レフカメラは減少、ミラーレスカメラの好調により全体として数量・金額ベースともに2桁成長
- ◆ 交換レンズ市場もカメラ市場の好調に伴い、数量・金額ベースともに2桁成長
- ◆ 監視関連分野では、半導体不足の緩和等によりカメラメーカーにおける在庫水準適正化の動きが継続

当社業績

- ◆ 売上高は約**1.4倍の大幅増収** : **商戦期である第4四半期以上の売上高を達成**

主力の写真関連事業、車載を主とするモビリティ&ヘルスケア、その他事業が大幅増収。加えて為替のプラス影響。

- ◆ 営業活動の活発化による広告/販促の強化、R & D強化、人件費上昇等による販管費増も吸収

- ◆ 営業利益は約**1.7倍の大幅増益** : **第1四半期としての過去最高利益を大幅更新**

トピック

- ◆ 2月～3月 : 株主還元の充実、資本効率向上および機動的な資本政策を目的とし、**20億円の自己株式取得を実施**
- ◆ 4月 : **キヤノンRFマウントへの参入を発表**（当社初となるキヤノンRFマウント対応レンズを開発発表、年内発売）

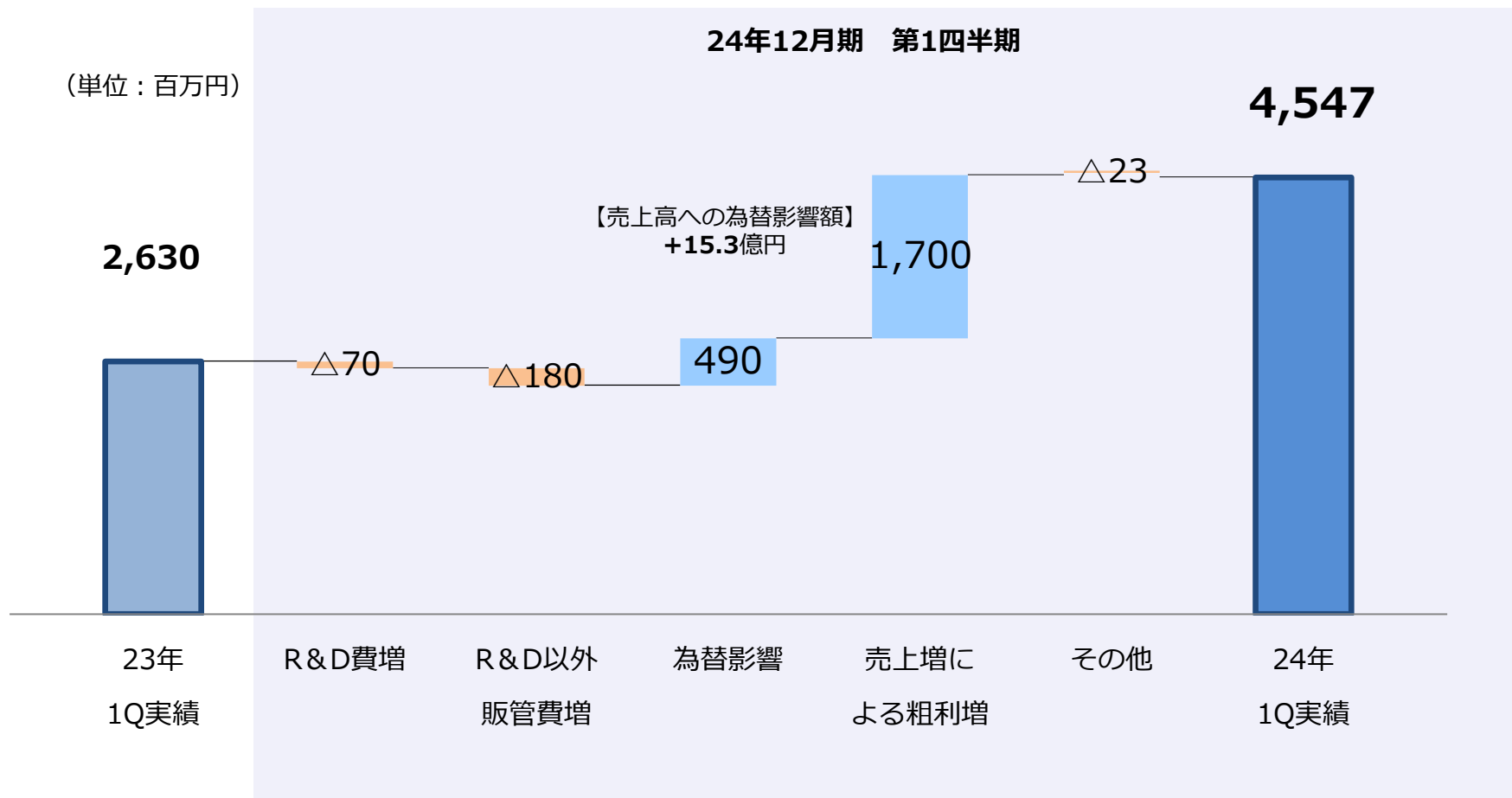
I - 2. 2024年 第1四半期実績

- ◆ 主力の写真関連事業が約1.5倍の増収、車載を主とするモビリティ&ヘルスケア、その他事業が約1.7倍の増収と、売上高を牽引
- ◆ 部材コスト抑制、原価低減等により前年並みの粗利率を維持
- ◆ 大幅増収による粗利益の増加、および販管費を増収率を大きく下回る増加率10%に抑制し、**営業利益率は+約5pt改善、20%以上へ**

(単位：百万円)	23年1Q実績	24年1Q実績	増減（対前年）	
			額	率
売上高	14,521	19,819	+5,297	+36.5%
粗利益	6,562	8,882	+2,319	+35.4%
粗利益率	45.2%	44.8%	△0.4%	-
営業利益	2,630	4,547	+1,917	+72.9%
営業利益率	18.1%	22.9%	+4.8%	-
経常利益	2,589	4,598	+2,008	+77.6%
経常利益率	17.8%	23.2%	+5.4%	-
四半期純利益	2,347	3,344	+996	+42.5%
四半期純利益率	16.2%	16.9%	+0.7%	-
ドル	132.44	148.63	+ 16.19	-
ユーロ	142.23	161.38	+ 19.15	-

I - 3 . 営業利益変動要因

為替影響を除いても2桁の大幅増収増益（約1.3倍の増収、約1.5倍の増益）



I - 4 . 2024年 セグメント別第1 四半期実績

① 写真関連事業

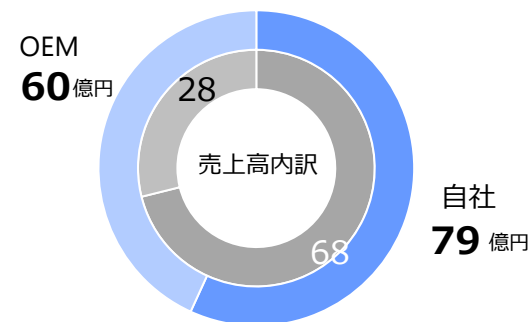
- ◆ 自社ブランドは昨年の新製品投入効果、国内・中国市場の好調が継続し、**為替影響を除いても2桁の増収**
- ◆ OEMは市場の堅調な推移に伴い、昨年同期以降の好調が継続し**倍以上の増収**
- ◆ **利益率も向上し、約1.5倍の大幅増益**

(単位：百万円)	23年1Q実績	24年1Q実績	増減 (対前年)		為替影響
			額	率	額
売上高	9,615	13,944	+4,328	+45.0%	+9.8億円
営業利益	2,666	4,019	+1,353	+50.8%	+2.3億円
営業利益率	27.7%	28.8%	+1.1%	-	-

売上高内訳

(単位：億円)	23年1Q実績	24年1Q実績	増減 (対前年)	
			額	率
自社	68	79	+11	+16.6%
OEM	28	60	+32	+114.9%

市場状況 対23年比	数量	金額
一眼レフ	▲10%	▲4%
ミラーレス	+28%	+33%
レンズ交換式カメラ計	+19%	+29%
交換レンズ	+13%	+23%



内円：23年 外円：24年

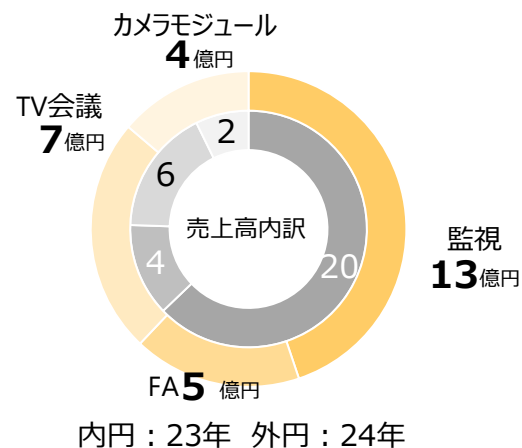
② 監視 & FA 関連事業

- ◆ 監視は客先における在庫調整等の影響が長引き減収
- ◆ FAはラインナップ拡充により受注が進み好調継続
- ◆ カメラモジュールは昨年投入の新機種が大きく売上に貢献、TV会議は在庫調整解消により、ともに増収転換
- ◆ 減収ながら、ミックス良化・経費抑制等で**約1.5倍の大幅増益**

(単位：百万円)	23年1Q実績	24年1Q実績	増減 (対前年)		為替影響
			額	率	額
売上高	3,215	2,939	△276	△8.6%	+3.0億円
営業利益	288	428	+139	+48.4%	+1.7億円
営業利益率	9.0%	14.6%	+5.6%	-	-

売上高内訳

(単位：億円)	23年1Q実績	24年1Q実績	増減 (対前年)	
			額	率
監視	20	13	△7	△37.0%
FA他	4	5	+1	+20.6%
TV会議	6	7	+1	+36.8%
カメラモジュール	2	4	+2	+79.1%



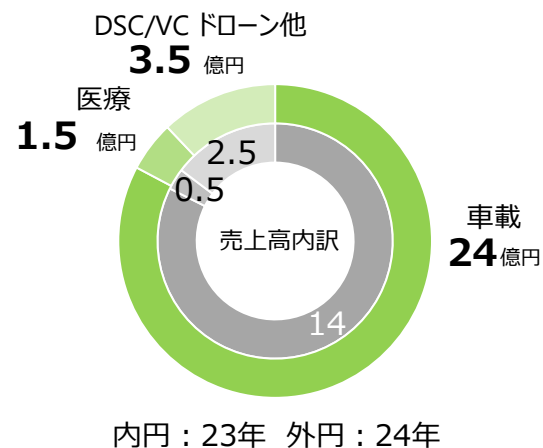
③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

- ◆ 車載は安全運転システム（ADAS）普及による旺盛な需要を背景にセンシング用途中心に好調を維持し、**70%超の大幅増収**
- ◆ 育成分野の医療はラインナップ増加により**約3倍の増収**
- ◆ 新規分野の育成を図りつつも、主力の車載用レンズの増収効果等により、**利益率も向上し約2.6倍の大幅増益**

	23年1Q実績	24年1Q実績	増減（対前年）		為替影響 額
			額	率	
（単位：百万円）					
売上高	1,690	2,935	+1,245	+73.6%	+2.5億円
営業利益	284	729	+444	+156.3%	+0.9億円
営業利益率	16.8%	24.8%	+8.0%	-	-

売上高内訳

	23年1Q実績	24年1Q実績	増減（対前年）	
			額	率
（単位：億円）				
車載	14	24	+10	+73.3%
医療	0.5	1.5	+1	+217.8%
DSC/VCドローン他	2.5	3.5	+1	+41.7%

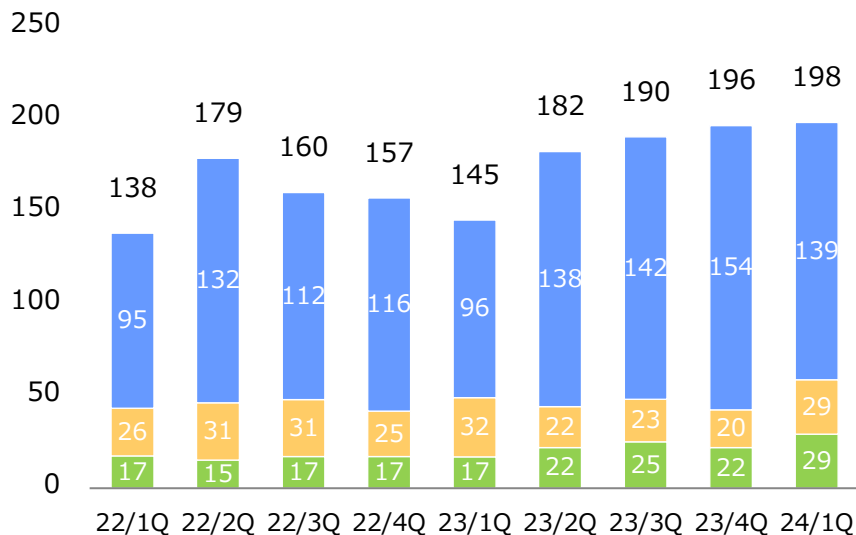


セグメント別 売上高・営業利益 サマリー

		23年1Q		23年2Q		23年3Q		23年4Q		24年1Q	
		売上高	前年同期比 (%)	売上高	前年同期比 (%)	売上高	前年同期比 (%)	売上高	前年同期比 (%)	売上高	前年同期比 (%)
写真関連	売上高	9,615	+1.3	13,809	+4.3	14,207	+26.6	15,399	+33.2	13,944	+45.0
	営業利益	2,666	+20.0	3,839	+8.3	3,948	+30.0	3,553	+51.0	4,019	+50.8
監視 & FA関連	売上高	3,215	+24.5	2,216	△28.7	2,312	△25.1	2,041	△16.8	2,939	△8.6
	営業利益	288	+37.8	286	△39.4	102	△78.8	37	△83.6	428	+48.4
モビリティ & ヘルスケア,その他	売上高	1,690	△3.1	2,203	+44.8	2,510	+47.0	2,202	+28.5	2,935	+73.6
	営業利益	284	+13.5	385	+123.8	507	+41.9	314	+12.0	729	+156.3
連結	売上高	14,521	+5.1	18,230	+2.0	19,031	+18.8	19,642	+24.9	19,819	+36.5
	営業利益	2,630	+26.4	3,847	+7.1	3,704	+18.9	3,425	+52.2	4,547	+72.9

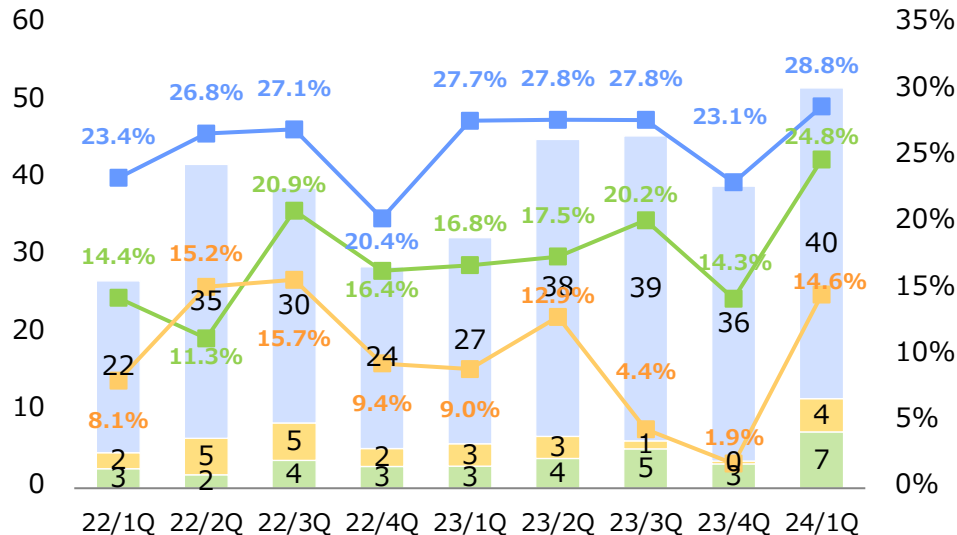
売上高

(単位：億円)



営業利益・営業利益率

(単位：億円)



Ⅱ.2024年上期修正計画/通期計画

Ⅱ-1. 2024年 上期修正計画/通期計画

➤ 上期は販売好調、円安によるプラス影響等、第1四半期が計画を大きく上回って推移したことにより、**売上・利益ともに2桁の上方修正**
 ⇒5%増収営業減益予想から、**2桁の増収増益予想に転換**

➤ 通期は現時点では見通せない面があり据え置き、今後の上期実績進捗や下期動向踏まえ修正予定

(単位:百万円)	23年上期実績	24年上期期初計画	24年上期修正計画	増減(対前年)		増減(対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	32,752	34,300	41,000	+8,247	+25.2%	+6,700	+19.5%
営業利益	6,477	6,200	8,400	+1,922	+29.7%	+2,200	+35.5%
営業利益率	19.8%	18.1%	20.5%	+0.7%	-	+2.4%	-
経常利益	6,891	6,200	8,400	+1,508	+21.9%	+2,200	+35.5%
経常利益率	21.0%	18.1%	20.5%	△0.6%	-	+2.4%	-
純利益	5,329	4,650	6,300	+970	+18.2%	+1,650	+35.5%
純利益率	16.3%	13.6%	15.4%	△0.9%	-	+1.8%	-
ドル	135.01	140.00	144.32	+9.31	-	+4.32	-
ユーロ	145.99	152.00	156.69	+10.70	-	+4.69	-

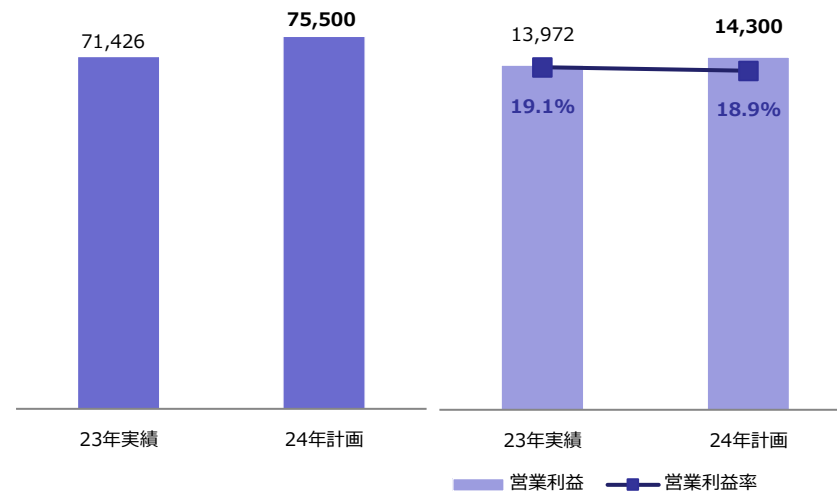
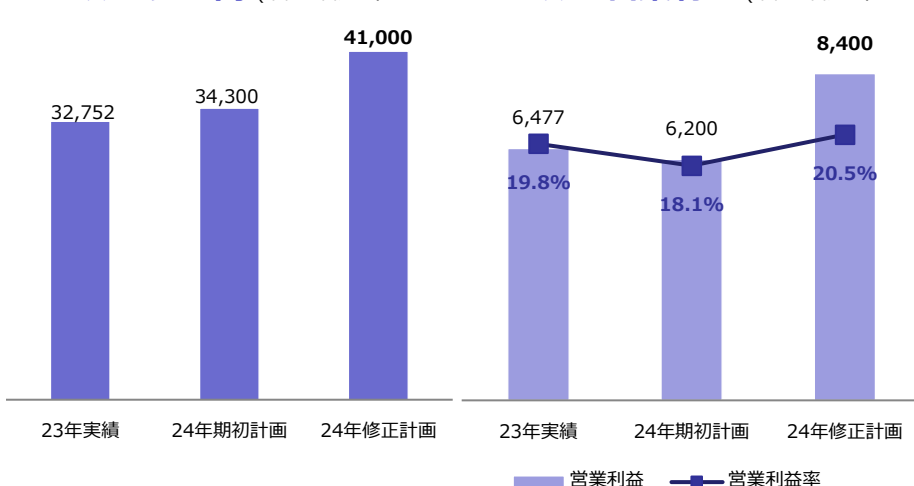
23年通期実績	24年通期計画	増減(対前年)	
		額	率
71,426	75,500	+4,073	+5.7%
13,607	14,300	+692	+5.1%
19.1%	18.9%	△0.2%	-
13,972	14,300	+327	+2.3%
19.6%	18.9%	△0.7%	-
10,812	10,730	△82	△0.8%
15.1%	14.2%	△0.9%	-
140.68	140.00	△0.68	-
152.17	152.00	△0.17	-

上期 売上高 (単位:百万円)

上期 営業利益 (単位:百万円)

通期 売上高 (単位:百万円)

通期 営業利益 (単位:百万円)



Ⅱ-2. 2024年 セグメント別 上期修正計画/通期計画

① 写真関連事業

- ◆ 自社ブランド、OEMとともに**期初計画比2桁の上方修正し、2桁増収へ**
- ◆ 原材料高等による部材のコストアップも、**高収益体質を維持し2桁増益へ**

(単位：百万円)	23年上期 実績	24年上期 期初計画	24年上期 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	23,425	25,400	30,600	+7,174	+30.6%	+5,200	+20.5%
営業利益	6,506	6,700	8,300	+1,794	+27.6%	+1,600	+23.9%
営業利益率	27.8%	26.4%	27.1%	△0.7%	-	+0.7%	-

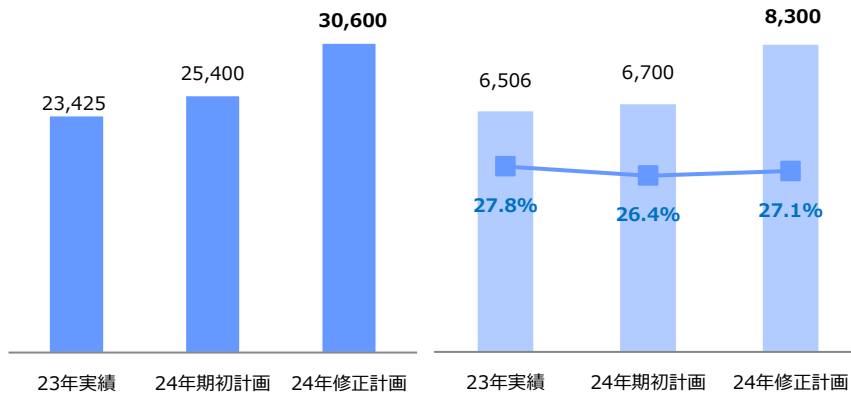
23年通期 実績	24年通期 計画	増減 (対前年)	
		額	率
53,032	54,500	+1,467	+2.8%
14,008	15,000	+991	+7.1%
26.4%	27.5%	+1.1%	-

売上高内訳

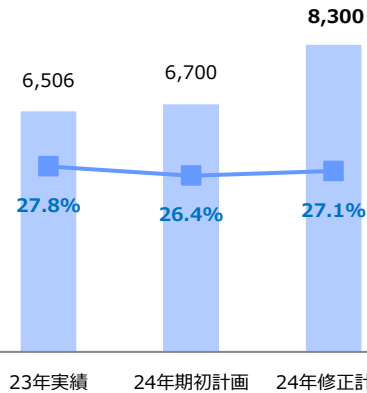
(単位：億円)	23年上期 実績	24年上期 期初計画	24年上期 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
自社	157	156	175	+18	+11.4%	+19	+12.2%
OEM	77	98	131	+54	+69.7%	+33	+33.7%

23年通期 実績	24年通期 計画	増減 (対前年)	
		額	率
328	352	+24	+7.4%
202	193	△10	△4.8%

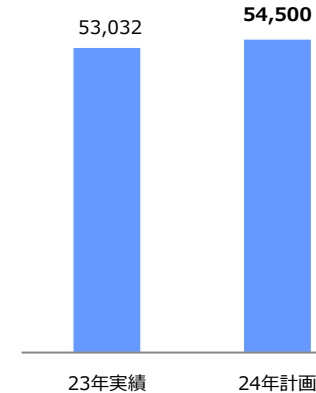
上期 売上高



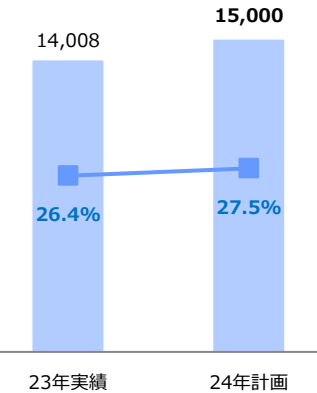
上期 営業利益



通期 売上高



通期 営業利益



自社ブランド新製品 投入状況

23年以前：年間5機種程度 ⇒ 24年期初計画：年間6機種 ⇒ **24年修正計画：年間7機種へ**

21年

22年

23年

	21年		22年		23年	
広角ズーム	<p>6月発売</p>  <p>11-20mm F/2.8 RXD (B060)</p>				<p>5月発売</p>  <p>11-20mm F/2.8 RXD (B060) 富士フィルムXマウント用4機種目</p>	
標準ズーム	<p>1月発売</p>  <p>17-70mm F/2.8 VC RXD (B070)</p>	<p>10月発売</p>  <p>28-75mm F/2.8 VXD G2 (A063)</p>	<p>7月発売</p>  <p>17-70mm F/2.8 VC RXD (B070) 富士フィルムXマウント用2機種目</p>	<p>10月発売</p>  <p>20-40mm F/2.8 VXD (A062)</p>	<p>10月発売</p>  <p>17-50mm F/4 VXD (A068) ソニーEマウント用</p>	
望遠ズーム	<p>6月発売</p>  <p>150-500mm F/5-6.7 VC VXD (A057)</p>	<p>10月発売</p>  <p>35-150mm F/2-2.8 VXD (A058)</p>	<p>9月発売</p>  <p>50-400mm F/4.5-6.3 VC VXD (A067)</p>	<p>10月発売</p>  <p>150-500mm F/5-6.7 VC VXD (A057) 富士フィルムXマウント用3機種目</p>	<p>9月発売</p>  <p>35-150mm F/2-2.8 VXD (A058) ニコンZマウント用2機種目</p>	<p>10月発売</p>  <p>70-180mm F/2.8 VC VXD G2 (A065) ソニーEマウント用</p>  <p>150-500mm F/5-6.7 VC VXD (A057) ニコンZマウント用3機種目</p>
高倍率ズーム	<p>9月発売</p>  <p>ソニーEマウント用 18-300mm F/3.5-6.3 VC VXD (B061) 当社初の富士フィルムXマウント用レンズをソニーEマウント用と同時開発</p>	<p>10月発売</p>  <p>富士フィルムXマウント用</p>	<p>24年 7機種を発売予定</p> <p>4月発売</p>  <p>28-75mm F/2.8 VXD G2 (Model A063) ニコンZマウント用4機種目</p> <p>24年年内発売予定</p> <p>タムロン初のキヤノンRFマウント用</p>  <p>11-20mm F/2.8 RXD G2 (Model B060) 小型軽量の大口徑F2.8超広角ズームレンズ</p>			

② 監視 & FA 関連事業

- ◆ 徐々に解消はされつつあるも、客先における在庫調整長期化の影響により監視は減収
- ◆ FA・カメラモジュールはラインナップ拡充により受注が進み上振れて推移
- ◆ 今回上方修正も、監視低迷の影響が大きく減収減益計画、下期での挽回を図る

(単位: 百万円)	23年上期実績	24年上期期初計画	24年上期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	5,432	4,800	5,300	△132	△2.4%	+500	+10.4%
営業利益	575	300	500	△75	△13.1%	+200	+66.7%
営業利益率	10.6%	6.3%	9.4%	△1.2%	-	+3.1%	-

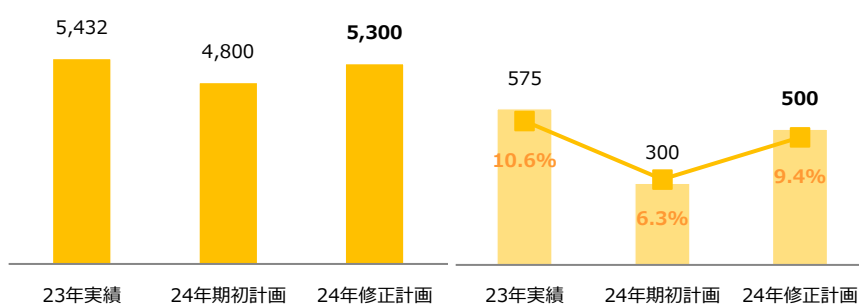
23年通期実績	24年通期計画	増減 (対前年)	
		額	率
9,786	11,600	+1,813	+18.5%
716	1,000	+283	+39.6%
7.3%	8.6%	+1.3%	-

売上高内訳

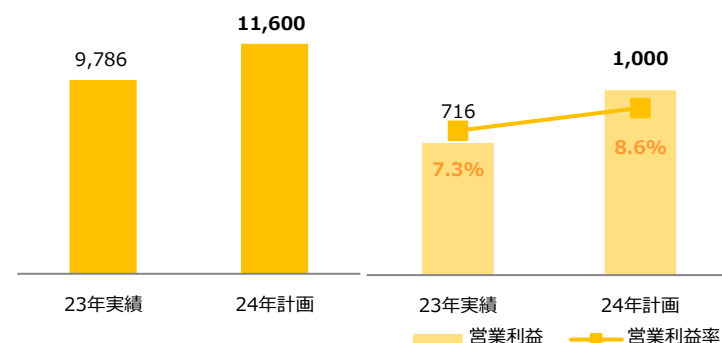
(単位: 億円)	23年上期実績	24年上期期初計画	24年上期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
監視	34	29	26	△8	△23.6%	△3	△10.3%
FA他	8	10	11	+3	+35.7%	+1	+10.0%
TV会議	7	3	8	+1	+5.5%	+5	+116.7%
カメラモジュール	5	6	8	+3	+74.0%	+2	+33.3%

23年通期実績	24年通期計画	増減 (対前年)	
		額	率
59	62	+3	+4.8%
16	26	+10	+66.8%
15	6	△9	△60.3%
8	22	+14	+174.1%

上期 売上高



通期 売上高



③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

- ◆ 旺盛な需要を背景に好調継続の車載用は**30%以上の増収計画**
- ◆ 医療用も着実な増収により**2桁増収継続**
- ◆ 医療分野の育成、新規分野の要素技術開発を強化するも、前年並みの利益率を維持

(単位：百万円)	23年上期 実績	24年上期 期初計画	24年上期 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	3,894	4,100	5,100	+1,205	+31.0%	+1,000	+24.4%
営業利益	669	450	900	+230	+34.4%	+450	+100.0%
営業利益率	17.2%	11.0%	17.6%	+0.4%	-	+6.6%	-

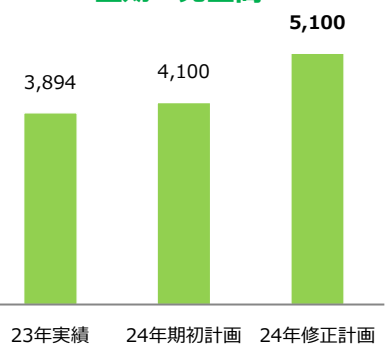
23年通期 実績	24年通期 計画	増減 (対前年)	
		額	率
8,607	9,400	+792	+9.2%
1,492	1,100	△392	△26.3%
17.3%	11.7%	△5.6%	-

売上高内訳

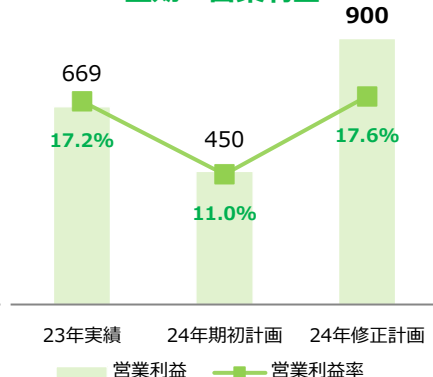
(単位：億円)	23年上期 実績	24年上期 期初計画	24年上期 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
車載	31	35	42	+11	+34.2%	+7	+20.0%
医療	2.6	3	3	+0	+15.0%	±0	±0%
DSC/VCT TM その他	5	3	6	+1	+18.9%	+3	+100.0%

23年通期 実績	24年通期 計画	増減 (対前年)	
		額	率
71	80	+9	+11.9%
4	7	+3	+80.3%
11	7	△4	△34.6%

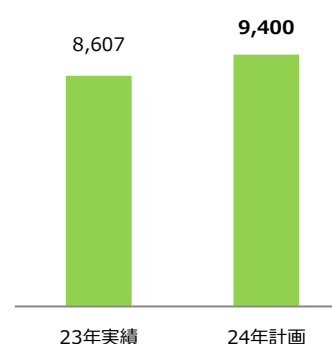
上期 売上高



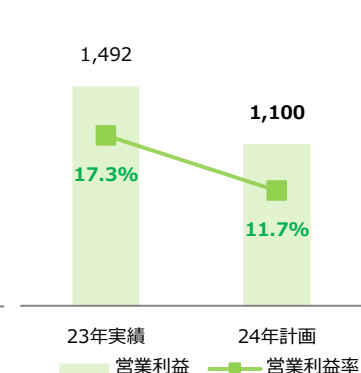
上期 営業利益



通期 売上高



通期 営業利益



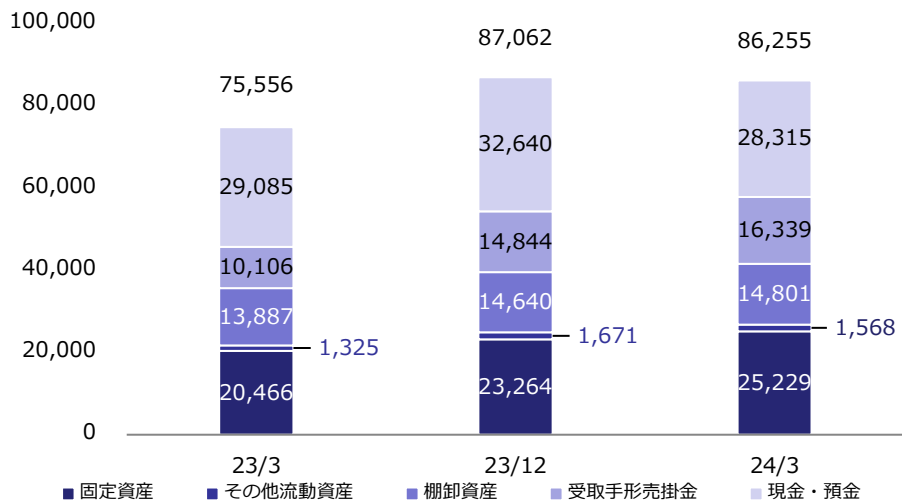
Ⅲ.参考情報



Ⅲ-1. 財政状況

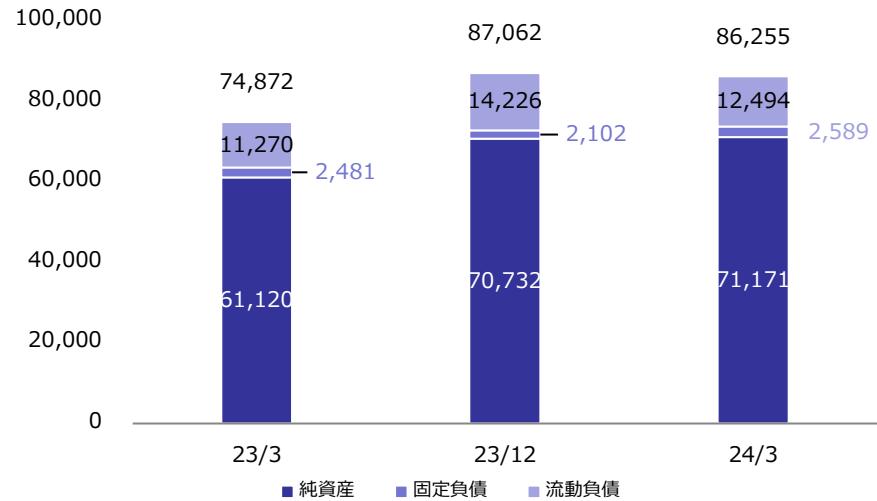
資産

(単位：百万円)

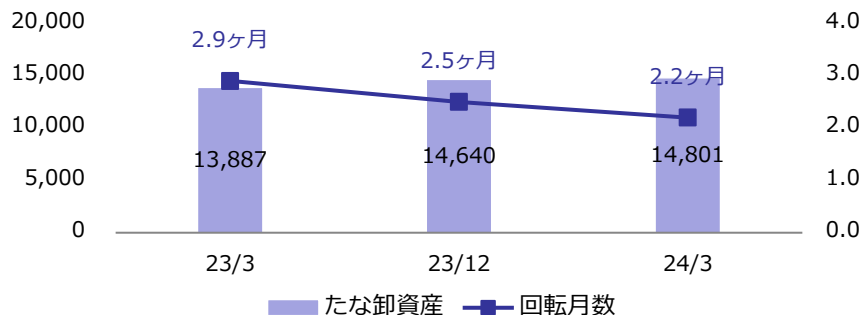


負債・純資産

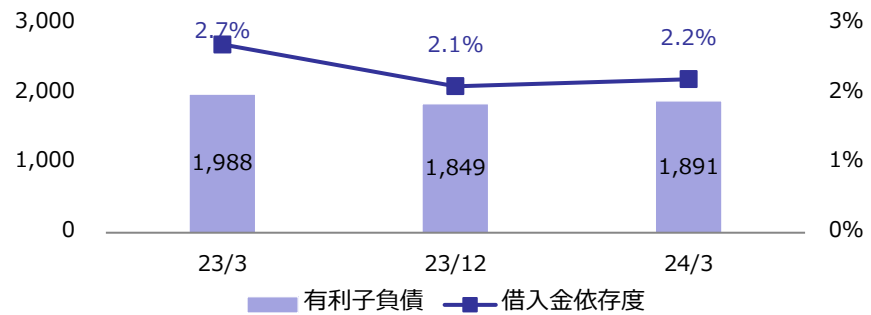
(単位：百万円)



棚卸資産

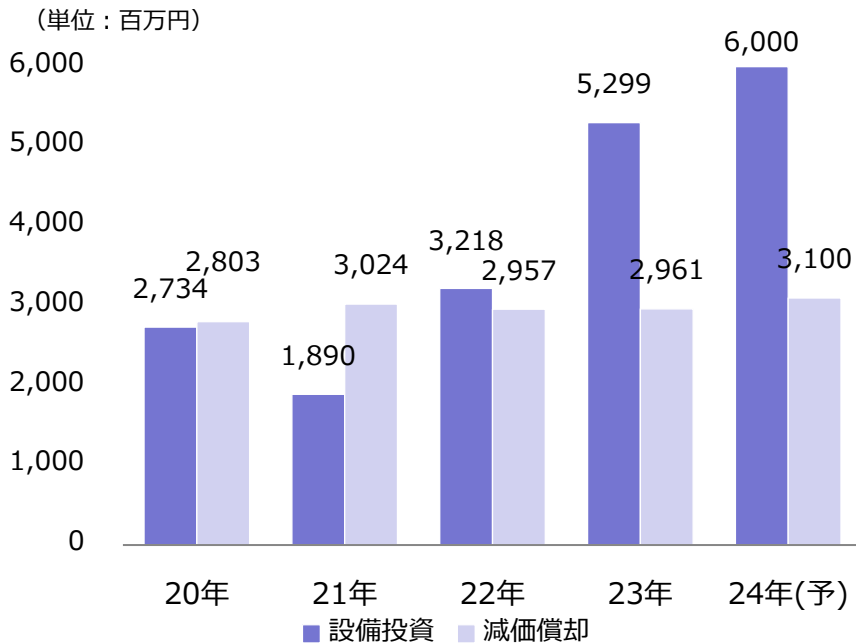
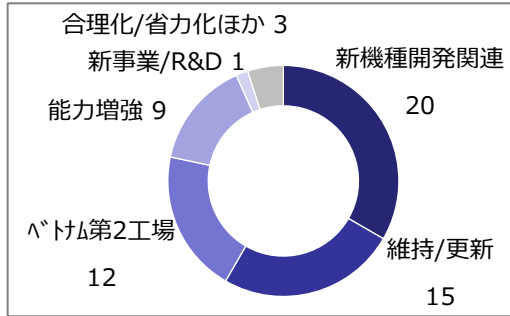


有利子負債



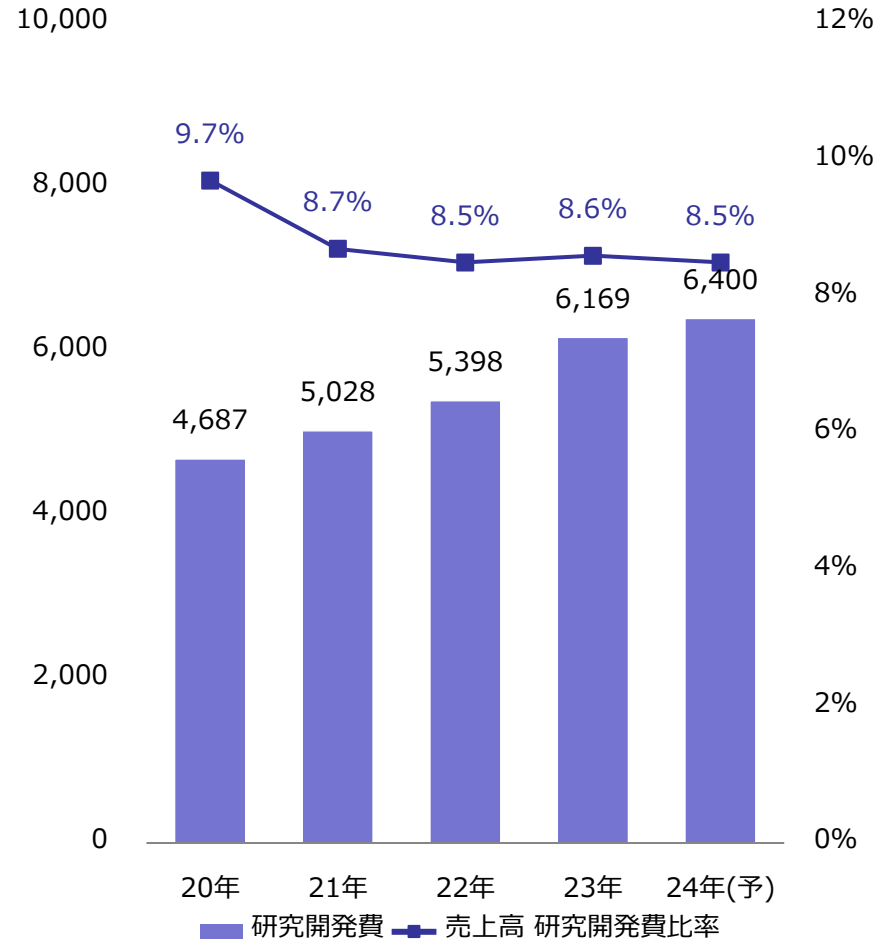
Ⅲ-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資・減価償却費

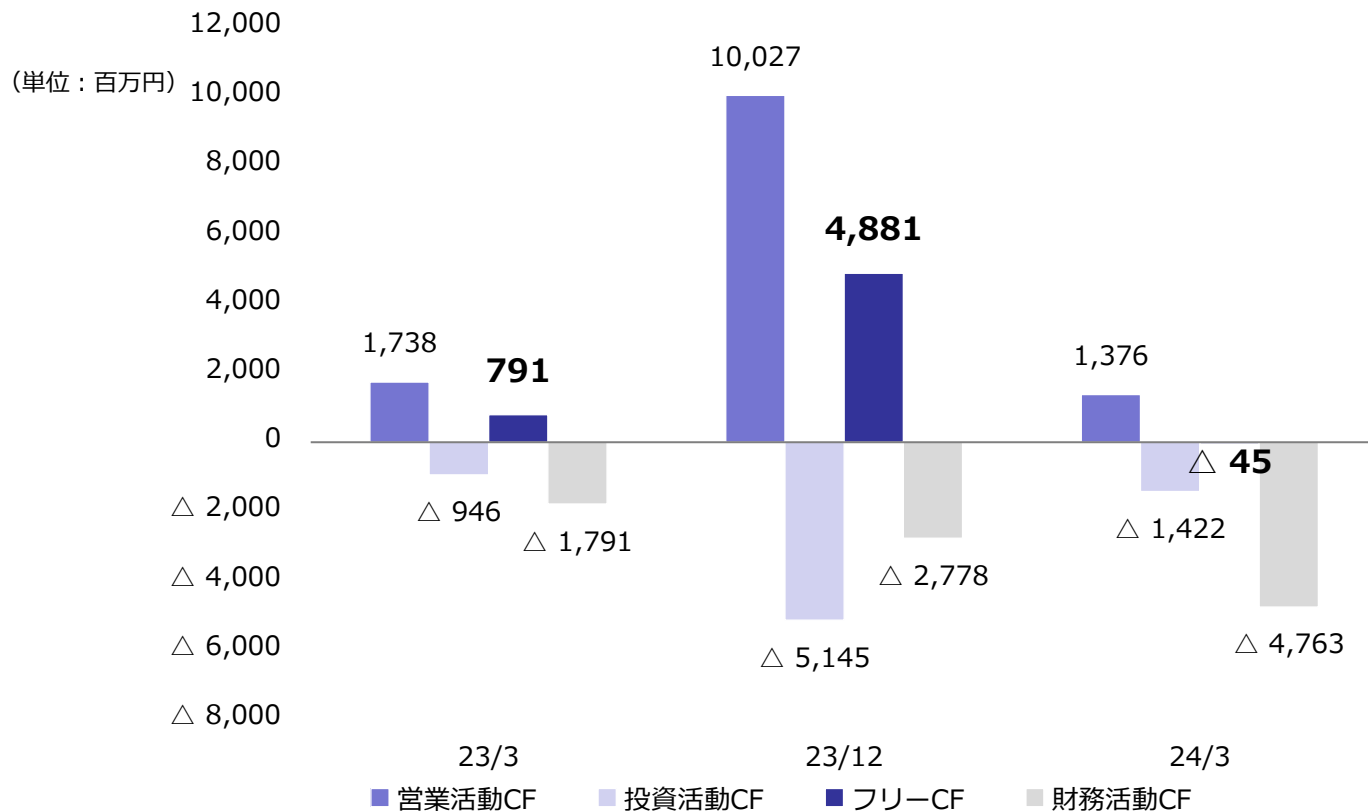


研究開発費

(単位：百万円)



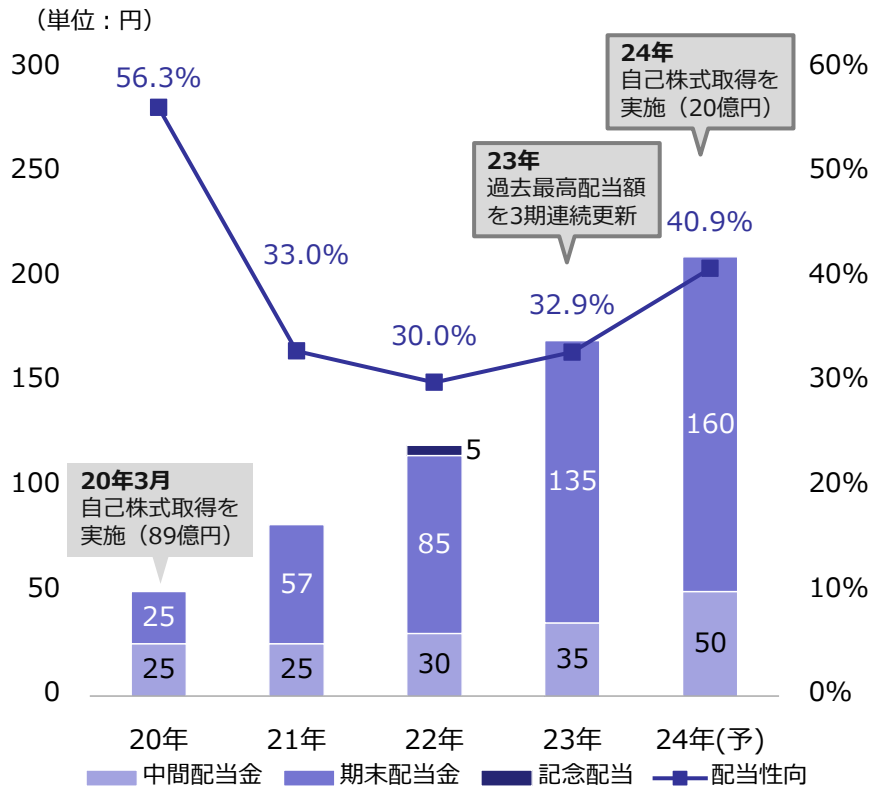
Ⅲ-3. キャッシュ・フロー



	23/3	23/12	24/3
営業活動CF	1,738	10,027	1,376
投資活動CF	△ 946	△ 5,145	△ 1,422
フリーCF	791	4,881	△ 45
財務活動CF	△ 1,791	△ 2,778	△ 4,763
現金及び現金同等物の 期末残高	29,085	32,640	28,315

Ⅲ-4. 配当金、主要経営指標

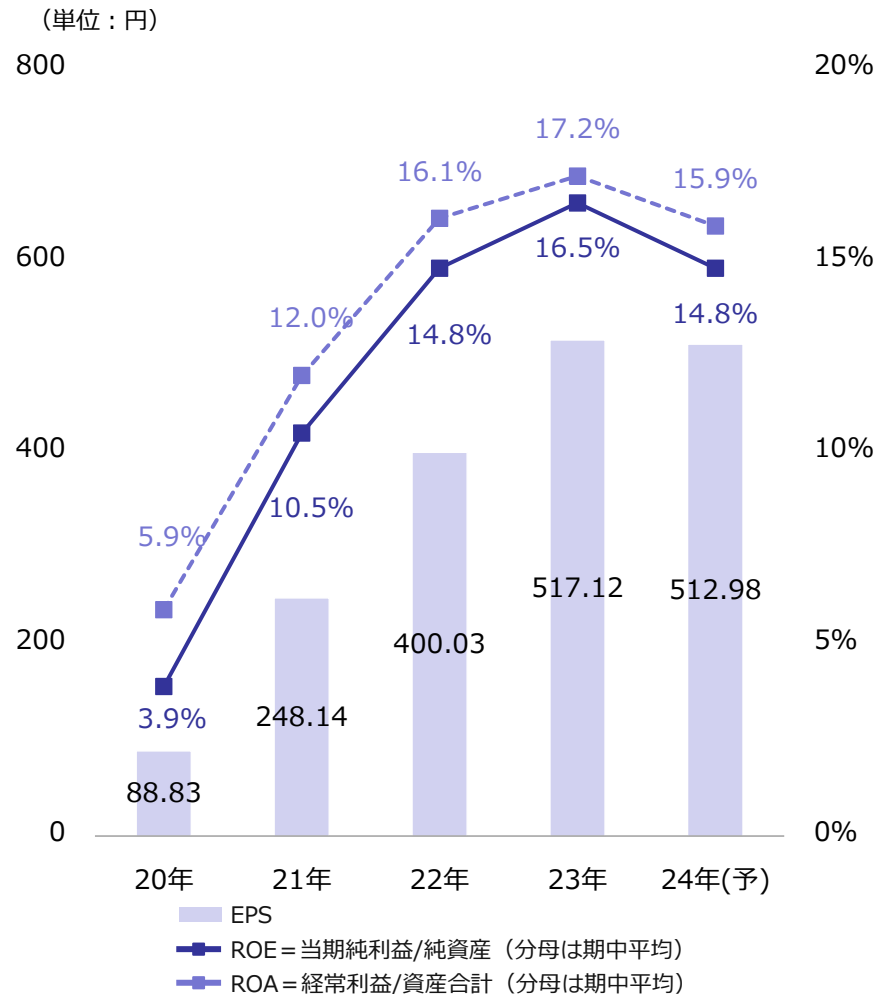
配当金推移



還元政策

- ◆ 配当性向40%程度 (年間配当金100円を下限に安定配当)
- ◆ 総還元性向60%程度を目安に機動的な自己株式取得実施

主要経営指標



Ⅲ-5. 為替影響

24年1Q為替影響額

	23年1Q実績	24年1Q実績	影響額	
			売上高	営業利益
USD/JPY	132.44	148.63	+11.1億円	+1.7億円
EUR/JPY	142.23	161.38	+1.6億円	+1.2億円
他通貨	-	-	+2.6億円	+2.0億円
合計	-	-	+15.3億円	+4.9億円

(前期実績に対する影響額)

為替感応度（年間）

	為替レート 24年前提	1円の変動(円高)による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	140.00	△3.2億円	△0.4億円
EUR/JPY	152.00	△0.7億円	△0.6億円



将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2024年12月期第1四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。